

# 兵庫県保険医協会第88回評議員会のご案内 (臨時(決算)総会・第38回共済制度委員会)

東日本大震災対策や審査指導対策、医療改善運動、会員の身近な要求に応える活動など、前半期の活動を振り返り、後半期の活動方針を協議するため、標記の会議を開催致します。お繰り合わせの上ご出席いただくようご案内いたします。

**11月15日(日)13時**～ 兵庫県保険医協会会議室  
・13時～ 第88回評議員会 ・14時30分～ 臨時(決算)総会

## ●14時50分～ 第38回共済制度委員会 「三井生命は経営統合でどう変わるのか」 三井生命保険(株)執行役員 営業推進統括本部基盤センター長 江口 浩章氏

日本生命と三井生命が経営統合するとの基本合意に至ったことが、9月11日に発表されました。基本合意によると、日本生命が株式公開買い付けにより三井生命の全株式を一旦取得して子会社化し、その後、三井グループ各社に株式の15%程度を取得してもらい、三井グループとの協力関係を維持・発展させるとしています。また、統合後の事業戦略について、両社は三井生命の事業運営の自主性を尊重することで合意したとしています。三井生命を幹事会社に保険医年金が発足して、すでに半世紀近くが経ちました。日本生命の傘下に入り、三井生命はどう自主性を発揮し経営の飛躍を目指すのか、保団連・協会担当の執行役員に直接聞きます。ぜひ、会場へお越しください。

## ●16時00分～ 特別講演 「新自由主義の自滅 - 安倍政権の経済政策をどうみるか -」 日本金融財政研究所 所長 菊池 英博氏



安倍政権は「骨太の方針2015」で来年度から3年間で社会保障費を1.5兆円も抑制するとしています。一方、今国会では、混合診療の全面解禁に道を開く「患者申出療養」制度や医師でなくとも理事長となることができる「地域医療連携推進法人」の導入が決まりました。これは、社会保障を切り捨て、小さな政府をつくり、民間企業の市場を広げる典型的な「新自由主義」です。今回は、アメリカや韓国の経済政策の失敗を分析しながら、新自由主義の問題点を専門家である菊池英博先生に伺います。ぜひ、ご参加ください。

――――  
〈きくち ひでひろ〉1936年生まれ。東京大学卒業、旧東京銀行(三菱東京UFJ銀行)入行。国際投融資の企画と推進、銀行経営に従事。ミラノ支店長、豪州東京銀行頭取などを歴任。文京学院大学教授を経て現在、日本金融財政研究所所長。

返信 FAX 078 - 393 - 1802

■第88回評議員会・臨時(決算)総会・第38回共済制度委員会  
 出席します  欠席します

■特別講演(16時～)  
 参加します(お席の準備の都合上、事前の申し込みをお願いします)( )人

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会  
**尼崎支部ニュース** 370号  
2015年10月25日付  
〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック  
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

医療安全管理研修会を開催

# 感染の危険度に 合わせた処理を



感染対策のポイントを分かりやすく解説する小川氏(写真左)  
参加者は洗浄・消毒・滅菌など正しい処理方法を学んだ(写真右)

尼崎支部は9月26日、尼崎商工会議所会館で医療安全管理研修会「洗浄・消毒・滅菌～正しい器材の処理方法を理解する～」を開催。会員やスタッフら24人が参加した。講師は済生会兵庫県病院感染管理認定看護師の小川麻由美氏が務めた。

小川氏は洗浄効果への影響因子や洗浄処理の種類、消毒薬の使用法と取扱い上の注意点、消毒と滅菌・無菌の違い、滅菌物の取扱いなどについて、実際の医療現場の写真を示しながら詳しく解説。「現場では感染の危険度に応じて、そのレベルにあった処理を確実に行うことが重要」としめくくった。

支部では、今後も定期的に同様の研修会を開催することになっている。

尼崎社保協總會

# 市民を巻き込んだ 運動に取り組もう



力強く訴える八木先生

尼崎社会保障推進協議会の2015年定期総会が9月27日(土)に、尼崎中小企業センターで開かれ、市民ら60人が参加した。

八木秀満会長(保険医協会尼崎支部長)は「安倍政権は国民の願いに反して安保関連法の強行採決を行った上に、医療や介護など社会保障への攻撃を強めようとしている。力を合わせて取り組みを強めよう」と訴えた。

小林事務局長は、この1年間の取り組みとして、自治体キャラバンでの尼崎市との懇談や、「介護保険問題」「生活困窮者自立支援法の運用」など尼崎市・出前講座、市の保健行政や県政の課題をテーマにしたリレー座談会など、市民向けの学習会にも大いに取り組んできたこと、引き続き全国の経験に学び、学習し、宣伝、自治体への申し入れをしながら活動をすすめることを報告した。また、新役員として会長に八木先生が再任された。(3面につづく)

支部会員の先生方へ

## 未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,200人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」  
いちばん身近に  
いちばん親身に

(2面につづき)



長友氏の国保の説明に聞き入る参加者

記念講演では、三重短期大学教授の長友薫輝先生が「国民健康保険ってどんな制度?～目的、しくみ、運用の実態、今日的課題は～」と題して講演。特に、国保の都道府県単位化の問題は、レセプトデータや国保データベースを活用した公的医療費抑制の新たな仕組みであり、影響は国保加入者とどまらないことを周知すべきと強調。都道府県は「医療費適正化目標」

を設定し、医療費水準、所得水準をもとに市町村ごとの「納付金」を決定するが、医療費水準が高い自治体ほど納付金の負担が重くなるなど、国保加入者がまともな医療を受けられない状況を生み出す可能性も有り、慎重な対応が必要とした。また、皆保険体制を堅持するためにも、保険原理で対応するのではなく社会原理の位置づけについても強調し、社会保障を「自己責任や助け合い」に還流することなく、「深刻な問題ほど、気軽に関心を持ってもらう工夫で、市民を巻き込んだ運動に取り組もう」と呼びかけた。

## 第502回幹事会だより

10月16日(金) 於 阪急尼崎「天竹」

- 尼崎支部の会員数  
10/15 現在 医科 378人、歯科 152人
- 医療をめぐる情勢と運動対策  
医療と福祉を考える会ほか当面の支部企画、医療情勢などについて意見交換した。
- 次回の幹事会  
11月20日にJR立花「アッパ」にて開催。

## 支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。  
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当; 長澤まで